

年間授業計画

科目名 (単位数)	日本史B(4)	教科書: 詳説日本史B
対象学年	3	副教材1: 最新日本史図表
履修形態	必修	副教材2:
講座数	7	副教材3:
科目の目標	我が国の近現代史を多角的に考察し、現代の生活との関連性を主体的に考えることで、他者への尊重心と自己肯定感の保持を両立できる姿勢を養う。また、あらゆる物事に対して多角的な視点から思考判断できる人材の育成をめざす。	
学期(予定時数)	単元	授業内容の概要
1学期中間	第4章 近代国家の形成と国民文化の発展	江戸時代の政治・経済・文化の特徴について理解させる。
1学期期末	第4章 近代国家の形成と国民文化の発展	倒幕から近代国家成立の過程を理解させる。また、明治時代に入り我が国に立憲政治体制が形成される過程と、その後の日清・日露戦争と資本主義の成立について理解をさせる。
2学期中間	第5章 現代の世界と日本	第一次世界大戦とその後の国際協調体制の中で日本がどのような位置を占めたか理解させる。また国内政治においては、大正デモクラシーにより政党政治が実現した流れについて理解させる。
2学期期末	第5章 現代の世界と日本	国際協調体制の中で日本がどのような位置を占めたか、また政党政治が実現した流れについて理解させる。昭和初期の国際社会と日本との関係を理解させ、日中戦争・太平洋戦争へと至る流れを理解させる。
3学期	第5章 現代の世界と日本	敗戦から復興し国際社会に復帰する過程、復興から60年代の高度経済成長を経ての国民生活の変化を理解させる。また70年代以降の低成長時代から80年代のバブル経済に至る過程を理解する。
評価の 観点と方法	定期考査(年5回)の結果及び授業の様子や提出物の状況から総合的に判断して評価する。	